

⑫ 公開特許公報(A) 平1-122241

⑤ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)5月15日

H 04 L 27/00

E-8226-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 無線デジタル伝送システム

⑯ 特 願 昭62-280708

⑰ 出 願 昭62(1987)11月5日

⑱ 発 明 者 高 橋 邦 彦 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

無線デジタル伝送システム

2. 特許請求の範囲

1) デジタル信号のデータ列を、無線回線を介在して伝送するシステムにおいて、

複数本の前記データ列を変調する多値変調手段、ならびに前記複数本のデータ列のうち重要なデータ列のみを変調する少値変調手段を切り替え可能な送信手段ならびに受信手段と、

前記無線回線の伝播状態を検出して悪化したときに、前記多値変調手段を前記少値変調手段に切り替えるための制御手段と、を備えていることを特徴とする無線デジタル伝送システム。

2) 前記の多値変調手段ならびに少値変調手段が、多値変調と少値変調との切替え装置、ならびに多値変調の変調器あるいは復調器からなる前記特許請求の範囲第1項に記載の無線デジタル伝送システム。

3) 前記の制御手段が、前記の送信手段ならびに受信手段をそれぞれ構成する制御装置ならびにこれら制御装置間を接続する制御回線とからなる前記特許請求の範囲第1項あるいは第2項に記載の無線デジタル伝送システム。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、デジタル信号の無線伝送方式に関し、とくに無線デジタル伝送における多値変調方式に関する。本発明をさらに特定すると、回線の伝播状態の悪化時の回線救済を考慮した無線デジタル伝送システムに関する。

(従来の技術)

従来、デジタル無線伝送システムにおいては、回線の伝播状態の劣化の場合、全てのデータ入力を予備回線に切り替えて救済を行っていた。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来の回線救済方法は、複数の現用回線に対して、1つの予備回線という構成をとる事